

# 最初の一步を 踏み出す勇気を 大切に！

入場 美緒（イリバ ミオ）さん

中国 大連市出身。福井県出身の夫と結婚し、子ども二人。  
中国で日本語を学んでいた経験を生かし、福井県国際交流  
協会の通訳ボランティアとして活躍。  
2020年にふくい外国人コミュニティリーダーとして委嘱。



## —日本に来たきっかけは？

結婚ですね。中国の大学で日本語を専攻していたこともあり、卒業後も日本と関係がある仕事をしていました。その時に夫と知り合って、一緒に夫の地元である福井に来ました。

ちなみに夫はそれまでずっと東京で働いていたのですが、結婚を機に福井に戻ってきたので、私はいきなり福井、ずーっと福井ですね。

## —いきなり福井！結構ご苦労もあったのでは？

最初に来たのが2005年だったんですが、当時は今ほど外国人がいなかったのが、突然外国から来て、知り合いもまったくないで最初は孤独感がありました。

それで、夫が色々調べてくれて、元々中国で通訳をしていたこともあって、国際交流会館の「通訳ボランティア」に登録したり、当時外国人ママのためのおしゃべり会NUKU-NUKUという子育てサークルがあったのでそれに参加したり。

そこでできた友達とは、今でも定期的に会ったりしていますよ。



(写真)県総合災害訓練に災害時通訳として参加する入場さん

## —他に困ったことはありましたか。

そうですね。当時はまだ外国人に対する認識があまりなかったこともあって、例えば仕事を探しているときに、前職とか学歴のことを聞かれて中国の大学の名前を言っても、「本当にそんな大学あるの？」と疑問視されたことはありました。

そこで、福井だったら福井大学というのを皆さんすぐ分かってくださるので、そのあと福井大学大学院に進学しました。

そういう意味では偏見…ではないですが、やっぱり知らないとちょっと疑ったり、それは当然なんですけれども、当時はありましたね。今はそんなに感じないので、そこは結構変わったように思います。

現在では、県内に住む中国人のコミュニティができ、新しく来た人は先輩に分らないことを頼ったりできるようになったので、そんなに不便と思うことも少なくなったのではないのでしょうか。

## —入場さんはどんな相談を受けますか。

私もわりと福井が長いほうなので、友達から学校関係のことをよく聞かれましたね。

小学校に入学するお子さんがいる人から「この手続きはどうしたらいいの？」とか。

## —中国と日本との違いはよく感じましたか。

私は夫の実家のそばに住んでいるので、町内会にも自然と馴染んだのですが、中国にはそういったものがなかったので、「町内会って必要なのかな？」とか、「そもそも町内ってなに？」という疑問から入る人も多そうですね。

あと、日本は賃貸マンションでもふつうにお風呂がついているじゃないですか。

中国では、賃貸だとシャワーを出すためのボイラーを自分でつけないといけなかったので、日本のお風呂はすごく便利だと感じました。これは皆さん結構言ってますね。

## 一福井の良さは？

一番好きなのは子育てがしやすいところ。福井は治安がすごく良いので、子どもが困っていても近所の方が助けてくれたり、親切な人が多いです。

場所だと、おすすめは「養浩館」ですね。去年、娘から養浩館の紅葉がすごくきれいらしいよと聞いて初めて行って、それから10月から11月にかけて毎週のように行きました。

一乗谷もいいんですが、車がない人は大変ですよ。福井は公共交通機関がもうちょっとあるといいですね。

私は運転が苦手なので、バスとか電車の本数ももうちょっとあるといいのにといつも思います。



(写真)養浩館の紅葉

## 一子育てについてもう少し聞かせてください。

福井は子育てがしやすい環境ではありますが、自分自身が日本の保育園や小中学校を経験したことがない外国人にとっては、言い過ぎかもしれないですけど、最初は学校の入り口がどこにあるかも分からない状態(笑)。私も周りの保護者に聞きながら、なんとか乗り越えたようなものです。

福井では、うちみたいに夫が日本人で妻が外国人というパターンが結構多くて、子どもも日本の名前なので、恐らく行政側も支援とかが必要ないという認識な気がします。

でも、子ども関係のことってまだまだ母親がやることが多いので、外国人のお母さんにとっては戸惑いも大きいと思います。

## 一お子さんとのコミュニケーションは日本語で？

残念なことに、子どもは日本語だけしか話せません(笑)。最初は中国語も教えたいと思っていたんですが、夫が中国語をあまり話せないので、子どもに中国語で話したことを夫に日本語でもう一回話すと、すごく効率が悪くって。

また、子どもも日本語のほうが分かりやすいので、中国語で話しかけるのを嫌がるようになってしまって、自然と日本語だけに落ち着いてしまいました。

知り合いの方の話ですが、最初は中国語の方が得意だった子どもが小学校に入ったらすぐに日本語のほうが上手になって、今では中国語を忘れかけているそうです。子どもは適応するのがすごく速いですね。

## 一言葉の壁は大人のほうが高いかもしれませんね。

そうですね。日本語があまり上手じゃない方でも、皆さん日本語を勉強する意欲はあると思います。

ただ、大人になると日本語をどこで勉強するのかとか、仕事をしている方は時間の問題もでてくるので、なかなか難しいですよ。

## 一入場さんがコミュニティリーダーになったきっかけは？

日本語と中国語が話せるということが誰かの役に立てるなら、やってみたくて思いました。

あと、私が福井に来た最初の頃、本当にさみしかったんですよ。でも、国際交流会館で日本での一歩を踏み出せたので、その恩返しができたかなと思っています。

## 一これからコミュニティリーダーとしてやってみたいことはありますか。

そうですね。同じ外国人でも性格なんて人それぞれですし、国際交流会館にも足が向かない人や、聞きたいことがあっても役所にはなかなか行けない人みたいに、「一歩を踏み出せない人」はやっぱりいます。

私は周りの人には、まずは「その最初の一歩は踏み出せ」と言います。やっぱり私もそうしたこと、友達もできましたし。

ただ、それでもちょっと行けないなと思っている方のために、気軽にどんな話題でも話せる「私たちに何でも話ししていいよ！」みたいな場づくりができるといいですね。



(写真)中国人リーダーの皆さんと一緒に

中国人リーダーの皆さんは、情報を発信する際、月ごとに発信担当を決めて、他のコミュニティリーダーが翻訳した内容をダブルチェックする体制をとっているとのこと。

正確な情報を届けるために、色々な工夫をしてくださっています。



## ◎ふくい外国人コミュニティリーダーとは？

「外国人県民が安心して暮らせる福井」を目指し、外国人県民等のネットワークを活かし、県内の外国人コミュニティに生活・災害情報を届けたり、日本人県民とのコミュニケーション

の橋渡しや災害時の自助・共助等の担い手としてご活躍いただいています。

詳しくはこちら⇒

